2026年のドイツ主要クリスマスマーケット、グリューワイン1杯は約5ユーロの見通し

BWSによると、ドイツでは小売店とクリスマスマーケットを合わせ、グリューワインが年間約5,000万リットル販売されている

2026年11月16日（月）



ドイツの業界団体BWSによると、2026年のクリスマスシーズンには、国内の主要クリスマスマーケットの多くでグリューワイン1杯が約5ユーロになる見通しだ。

同団体の推計は、季節限定の屋台がドイツを代表する冬の飲み物の一つを提供し始めるなか、多くの来場者が主要マーケットで目にする価格帯を示している。ドイツ語でグリューワインと呼ばれるホットワインは、クリスマスマーケットの定番であり、クリスマス商戦で最も目につく商品の一つだ。

BWSによると、小売店とクリスマスマーケットの販売を合わせると、ドイツではグリューワインが年間約5,000万リットル販売されている。この数字は、マーケットの屋台にとどまらず、スーパー

マーケットや専門小売店、飲料業界全体に広がる事業規模を示している。

11月15日に発表された数値は、大規模マーケットで季節商品の価格がどの水準に落ち着くかを示す、最も早い段階での明確な手がかりの一つとなる。都市や運営者、販売場所によって価格は異なるものの、同団体の推計によれば、国内の大規模会場の多くで1杯約5ユーロが一般的な目安となりそうだ。

飲料業界にとって、この価格の見通しはクリスマスイベントでの消費支出だけにとどまらない意味を持つ。年間数千万リットルを販売する市場は、季節商品を供給・提供するワイナリー、輸入業者、流通業者、飲食事業者の計画にも影響しうる。また、見込まれる価格帯は、短期間に販売量が集中する時期に自社商品をどう位置づけるか検討する販売業者にとって、基準の一つとなる可能性がある。

ドイツのクリスマスマーケットは、温かいアルコール飲料の年間最大級の販売機会であり、グリューワインはこの商取引と最も強く結びついた商品の一つだ。大都市では人通りの多い場所で販売されることが多く、価格は消費者だけでなく、食品・飲料業界の事業者からも注目される。この規模の市場では、1杯の一般的な価格にわずかな変動があっても、積み重なれば大きな意味を持つ。

公表された数値のなかで、BWSは都市ごとの詳細な内訳を示しておらず、すべてのマーケットで同じ価格になるとも述べていない。同団体の推計が示すのは、多くの大規模マーケットに見られる大まかな傾向であり、地域ごとの差は残る。それでもこの見通しは、ドイツのクリスマスマーケットシーズンが始まるにあたり、消費者と事業者にとって早い段階での目安となる。

小売店とマーケットを合わせた年間販売量が約5,000万リットルに上るグリューワインは、ドイツで最大級の季節飲料カテゴリーの一つだ。1杯5ユーロという単純な価格の目安が、飲料業界全体の販売業者や供給業者から注目される理由もここにある。